

計算書類に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却について

什器及び備品・・・減価償却は定額(耐用年数5年、200,000円)で実施しており
平成23年3月31日迄に全額償却済であり当期末は0円です。

(2) 資金の範囲について

資金の範囲は現金・預金である。
尚、前期末及び当期末残高は3に記載のとおりである。

2 基本財産の増減及びその残高は次のとおりである。

(円単位)

科 目	前期末残高	当期増減額	当期末残高
定期預金(基本金)	3,000,000	0	3,000,000

3 次期繰越収支差額の内容は次のとおりである。

(円単位)

科 目	前期末残高	当期末残高	
預 金	285,703	689,942	注1¥350,000は特定費用準備資金に繰入
現金	22,246	23,677	
計	307,949	713,619	
前受け会費(24年度年会費)	18,000	0	注2 前受け金等は収支計算書の
前受け金(フランス展出品料)	0	0	財務活動収入に計上
預り金(理事の方の立替金)	600,000	0	注3 収支計算書の財務活動収入の内訳
預り金(職員の源泉課税他)	6,954	0	①前受け金(24年会費度会費) ¥232,000
計	624,954	0	②前受け金(フランス展出品料) ¥116,000
次期繰越収支差額	-317,005	713,619	③預かり金(職員の源泉課税他) ¥5,540

計¥353,540